

令和6(2024)年度 第1回 下都賀地区臨時採用教員研修会を開催しました

日 時:令和6(2024)年6月18日(火)12:40~16:00

会 場:小山市立旭小学校

参加者:栃木県教育委員会採用で、令和6年4月1日から初めて臨時採用教員として採用されている管内の常勤の講師・助教諭・養護助教諭

1 研修内容について

- (1) 目的 ①授業参観及び授業研究会を通して、学習指導や児童・生徒指導、学級経営等について基礎的な指導力の向上を図り、自信と希望をもって日々の教育活動に取り組めるようにする。
②服務規律の確保に努めることや職務に専念することなど、教員としての使命を自覚し、自己啓発に努めようとする姿勢を養う。
- (2) 内容 ・授業参観
・研究協議(教科・領域等部会、養護助教諭部会)
・講話「臨時採用教員の服務について」 下都賀教育事務所学校支援課管理担当

2 本研修で確認したこと

- (1) 学習指導について
- ねらいを明確にした授業展開
 - ・本時のねらいを達成するための、指導・支援、振り返りについて
 - 教師の関わりや働きかけ・学級経営
 - ・子どもたちとの関係づくりにおける適切な言葉かけ、接し方、関わりについて
 - 特別支援教育の視点からの授業づくり
 - ・安心感を高める指導・支援について
- (2) 教職員の服務について
- 服務規律の確保等について
 - ・体罰及び言葉による暴力の禁止
 - ・交通違反
 - ・セクハラ・わいせつ行為の禁止
 - ・SNS上での不適切な情報発信

3 本研修で学んだこと(参加者が記入した〈研修の振り返り〉から)

- 子ども一人一人への目配りが丁寧で、クラスの雰囲気も温かく、子どもたちが発言しやすい環境となっていました。ねらいを明確にすることや、ねらいにつながるキーワードを子どもの発言から取り上げて生かす大切さや技術を学ぶことができました。学業指導についても意識して授業をつくっていきたいです。
- 授業では、板書に見通しをもちやすくする工夫があったので、明日から早速取り入れていきたいです。
- 子どもの発言や意見の引き出し方や、めあての示し方がとても勉強になりました。授業中の発問は子どもの考えを引き出すためのものであることを意識し、教師ではなく子どもが話す時間を多く作ることができるようにしていきたいです。

- 授業中、教師が一方向的に話すのではなく、子どもを巻き込み、一緒に考えていく言葉の掛け方や発問について学ぶことができました。
- 明確なねらいをもって、振り返りまでの流れをしっかりと計画して授業に臨みたいと強く思いました。そして、子ども同士が話し合う活動を入れる際には、「何のために話し合うのか」を一人一人が分かるように言葉を掛けていきたいです。
- 自立活動では、子どもの実態や様子に合わせて支援していたことや、説明も視覚や聴覚を刺激することで子どもの主体性を伸ばす工夫がされていたことが大変勉強になりました。
- 授業参観で子ども一人一人と向き合うことの大切さを学ぶことができました。また、班別協議を通して同じような悩みや困難をもっている方がたくさんいると気づき、相談し合えたことが心強かったです。
- 校種が違い、担当の教科でもない授業を参観したのですが、子どもとのコミュニケーションの大切さや一人一人を見て子ども理解をしていくことがいかに重要であるかを再確認することができました。また、採用1年目の先生方と交流できたこともよかったです。様々な視点からアドバイスを頂き、とても励まされました。
- 参観したクラスの先生の笑顔がとても印象的で、それが子どもたちの安心感を生み出していると感じました。明日から自分も笑顔で明るく子どもたちと向き合おうと思いました。
- 子どもたちが主体的に学習に取り組む力を育成したり、子どもたちの規範意識を高めたりする指導を意識していきたいです。
- 学業指導において、自己有用感を育てていくことの大切さを学ぶことができました。授業中に「できた」の声がたくさん出て、子どもたちが成功体験を積み重ねられるよう、授業づくりを進めていきたいです。
- 授業づくりに関する内容が中心の研修ではありましたが、それだけではなく普段の指導にどのような気持ちで取り組めばよいのか、授業外のことでも学ぶことができました。
- 普段授業をしていて、授業の終わりに子どもが何の学習であったのかを理解できていないことが多々あります。今回学んだねらいの明確化、振り返りについてまずはしっかり行いたいと思いました。
- 研修を通して、ねらいの示し方、子どもへの働きかけ、特別支援教育の視点を踏まえた個に応じた指導などは、研修前に課題と感じていた「メリハリをつける」ことにつながると感じました。
- これまで不安が多々ありましたが、授業の進め方や内容についてはもちろん、どのように子どもたちと関わり、学習の基盤を作っていくべきか、班の先生方と話し合う中で、ヒントを見つけることができました。
- 同じ立場の先生方と授業や日頃の悩みについて話し合えたことで、みんな同じようなところで悩んでいることに気づき、気持ちが楽になりました。たくさんのアドバイスもいただいたので、これから生かしていきたいです。
- 養護助教諭部会では、保健室経営の在り方や、子ども一人一人をよく見て支えていくことの大切さを学びました。また、子どもの居場所をつくることは自分にもできると感じたので、実践していきたいです。



(全体会の様子)



(授業についての研究協議)